

新島学園短期大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学科	キャリアデザイン学科	職位・氏名	専任講師・臂 奈津恵
------	------------	-------	------------

1. 教育の責任（何をおこなっているのか／担当授業科目その他）

【春学期】

キャリアデザイン学科

「キリスト教入門」 1年次 卒業必修 2単位

「新島襄」 1年次 選択 2単位

「基礎演習Ⅰ」 2年次 卒業必修 2単位

「卒業研究Ⅰ」 ②年次 卒業必修 2単位

「集中講義 ボランティア活動」 1年次 選択 2単位

「集中講義 ボランティアプロジェクト」 1年次 2単位

コミュニティ子ども学科

「キリスト教入門」 1年次 卒業必修 2単位

「新島襄 その時代と生涯」 選択必修 2単位

【秋学期】

キャリアデザイン学科

「基礎演習Ⅱ」 1年秋学期 卒業必修 2単位

「卒業研究Ⅱ」 2年秋学期 卒業必修 2単位

「平和学」 1年秋学期 選択 2単位

【通年】

チャペル・アワーの運営

2. 教育の理念・教育目標（どのような考えに基づいて行っているか）

本学の建学の精神である「キリスト教主義」および「新島襄の教育理念」、そして短期大学のモットーである「真理・正義・平和」を教育の根幹に据えている。

現代の学生にとってキリスト教の教えや聖書の言葉は馴染みが薄いと感じられがちであるが、これらは本来、普遍的な人間理解と生き方の指針に他ならない。そのため講義においては、単なる教条的な理解にとどまらず、「何のために生きるのか」「なぜ学ぶのか」「他者と協働することにどのような価値があるのか」といった実存的かつ社会的な問いを投げかけることを重視している。

身近な社会課題や日常の出来事と理念を結びつける対話的な学びを通じ、学生が他者を思いやり、自律的

に考え行動する力を養うことを教育目標としている。

3. 教育の方法（その考えをどうやって実現しているか/実践の工夫）

建学の精神や本質的な問いを学生が主体的に内面化できるよう、「身近さからの導入」「協働的な対話」「深いリフレクション」の3段階を意識した授業実践を行っている。

初学者にとって抽象度の高い理念や倫理的テーマを扱う際は、現代社会の具体的なニュースや日常の人間関係の出来事をケーススタディとして提示し、「なぜそう考えるのか」を自問する導入を心がけている。その上で、授業内に対話型グループワークやディスカッションを積極的に組み込み、異なる背景や考えを持つ他者との意見交換を促している。これにより、他者を理解し尊重しながら一つの課題に向き合う「協働の価値」を体得させる。さらに、毎回の授業後に自己の学びや思考の変化を言語化する振り返り（リアクションペーパー）を課し、個々の記述に対して丁寧に応答・フィードバックを行っている。これらの工夫を通じて、学生が単に知識を得るだけでなく、自己の生き方や他者との関わり方を能動的に探究し続ける学習環境を整えている。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうなったか/結果と評価）

講義やチャペル・アワーを通じ、学生アンケートや振り返り記述において理念が受け入れられていると考える。学生からは「キリスト教が身近に感じられるようになった」というものや、「悩んでいる時に聖書の言葉に慰められた」「試験に向かう勇気や励ましをもらった」といった、日々の困難を乗り越える精神的支えとして受け止める記述が数多く寄せられている。また、建学の精神である新島襄の人物像についても、単なる歴史的知識ではなく「これからの生き方を考える上でのモデルケース」として主体的に捉え直す姿が見られ、理念が学生の実生活に根づいた生きた学びとして結実していると考えられる。

5. 今後の目標（今後どうするか）

これまでの経験を通じて、学生が予想以上に聖書の言葉に関心を持ち、自己の内面と向き合う契機としている手応えを得た。この成果を基盤とし、今後は教育の「日常化」「個別化」「知性の深化」を軸にさらなる改善を図りたい。まず、学生に合わせたアプローチとして、現在運用している宗教主任のInstagram アカウントを拡充し、講義室の外でも建学の精神や聖書のメッセージに自然と親しめる環境を整えていく。また、講義におけるリアクションペーパーへの応答をより一層丁寧に行い、学生の率直な思いや悩みに寄り添う双方向の対話を深めていきたい。さらに、聖書を不朽の名著として位置づけ、その教えや人間理解の本質を、初学者にも直感的に伝わるよう教材の工夫や解説の平易化に努める。これらの取り組みを通じ、学生が生涯にわたって糧とできる教養と人間性の養成を支えたい。

6. 根拠資料

- ・2025 年度学生便覧 カリキュラム表
- ・2025 年度新島学園短期大学春学期授業アンケート結果
- ・2025 年度新島学園短期大学秋学期授業アンケート結果